

令和6年12月4日 開会

令和6年 第4回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	石森 晃寿	1 ふるさと納税について	1
		2 市道の側溝に蓋がない所の改修を急げ	2
		3 高齢者等の介護について	3
第2位	千葉 修一	1 中学校における部活動について	4
		2 大型商業施設について	5
第3位	五野井 敏夫	1 空き家の実態と対応策について	6
		2 地域脱炭素・再エネ推進事業の進捗はいかに	7
第4位	齋藤 徹	1 青の街を核としたシティプロモーションのさらなる推進を	8
第5位	大橋 博之	1 奥松島運動公園マレットゴルフ場の現状は	9
		2 鳥獣駆除対策の現状について	10
第6位	土井 光正	1 遅れている市街化区域拡大の対応について	11
		2 マイナンバーカードの積極的活用を推進せよ	12
		3 独居高齢者の支援体制を充実せよ	13
第7位	小野 幸男	1 市政運営の課題について	14
		2 新教育課程導入について	15

順位	氏名	件名	頁
第8位	浅野 直美	1 女川原子力発電所核燃料税交付金の増額を	16
		2 学校給食費無償化による子育て支援策を	17
		3 口腔対策による高齢者の健康増進を	18
第9位	阿部 秀太	1 農業施策の推進について	19
		2 総合防災訓練について	20
第10位	井出 方明	1 松島基地との共存共栄について	21
		2 我が市における水産業の課題について	22
		3 我が市における防災計画等について	23
		4 観光振興について	24
第11位	長谷川 博	1 国保に係る子どもの均等割独自減免について	25
		2 福祉灯油など住民の暮らしを支える取組を	26
第12位	櫻井 政文	1 単身世帯の増加対策について	27
		2 教育の諸課題を問う	28
第13位	手代木せつ子	1 粗大ごみのリユース事業を再開せよ	29
		2 地域公共交通の見直しを早急に検討せよ	30

【質問者数 13人・質問件数 30件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. ふるさと納税について</p>	<p>本市のふるさと納税（個人版・企業版）の昨年度の寄附実績は、6億2943万7397円となり、安心してふるさとで暮らせる福祉に関する事業を始めとする5事業に使用されている貴重な財源となっている。しかし、今年6月に総務省では、ふるさと納税に係る指定制度の運用についての見直しを行っている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今回の見直しにより、ふるさと納税（個人版）に多大な影響があり、当初、目標としていた寄附額は、達成できるのか。</p> <p>(2) ふるさと納税（個人版）は、居住地以外の応援したい自治体に寄付できる制度ですから、既存の返礼品だけでは、寄附の増額は厳しいと思われるので、新たな返礼品の提供をどのように考えているか。</p> <p>(3) ふるさと納税（企業版）のこれまでの実績は、どのようなになっているか。</p> <p>(4) ふるさと納税（個人版・企業版）の今年度の実績が目標額に達しなければ安心してふるさとで暮らせる福祉に関する事業を始めとする5事業は、縮小するのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>2. 市道の側溝に蓋がない所の改修を急げ</p>	<p>先日、本市の道路状況を把握するため、車でパトロールしたところ、市道の側溝に蓋がない箇所があり、夜間に散歩する人や自転車に乗って通行する人が側溝に落ちて怪我をする危険性がある。また、大雨などにより冠水すると、どこに側溝があるか分からなくなってしまってもっと危険である。</p> <p>したがって、安全対策のために、側溝に蓋がない箇所は、蓋掛けをするなどの改修が必要と思われるので、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市道の側溝に蓋がされていない箇所、延長を把握しているか。</p> <p>(2) これまで、市道の側溝に蓋がないための事故等はなかったか。</p> <p>(3) 市道の側溝に蓋がされていない箇所を鳴瀬地区は、過疎債、矢本地区は、どのような財源ですか検討し、計画的に改修する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>3. 高齢者等の 介護について</p>	<p>本市の高齢化率は、令和5年10月末に30.9%であり、超高齢化社会に突入している。</p> <p>特に要介護状態にある高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を送るためには、家族介護が必要となっている。反面、家族介護者にとって負担は軽いものでなく、日常生活に支障をきたすケースもあることから、施設等の支援サービスを利用し、負担軽減を図ることが、必要になっている現状である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の要支援・要介護認定を受けている人数は。</p> <p>(2) 要支援・要介護認定を受けてから介護支援サービスを受けられるまでの日数を現状より短縮できないか。</p> <p>(3) 要支援・要介護認定を受けているにも関わらず、介護施設等が満杯で介護支援サービスを待機している人数を把握しているか。</p> <p>(4) 介護支援サービス待機者の対応は、どのようにしているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 中学校における部活動について</p>	<p>これまで中学校が主体となってきた部活動について、新たに地域が主体となる地域クラブ活動への移行や部活動の外部指導員等の活用など、部活動の地域移行や地域連携の現状について伺う。</p> <p>(1) 少子化の中で廃部が増えていると聞くが、本市の傾向は。</p> <p>(2) 合同部活動を実施している部は何部あるのか。</p> <p>(3) 地域移行や地域連携は具体的に進んでいるのか。</p> <p>(4) 外部指導員は、何名で、どのように確保しているのか。</p> <p>(5) 教員の働き改革につながる成果はあったのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>千葉修一</p>	<p>2. 大型商業施設について</p>	<p>赤井字川前三番地内に大型商業施設が出店することから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市道川前線と市道小松・赤井線の十字路交差点の改良は考えているのか。</p> <p>(2) 市道川前線の商業施設側と旧交番前の歩道の設置について、どの様に考えているのか。</p> <p>(3) 大型商業施設側の雨水は、現状の側溝で対処できるのか。</p> <p>(4) 大型商業施設周辺の安全対策と周辺交通環境への対策はどのように考えているのか。</p> <p>(5) 大型商業施設側から南側の五差路交差点の安全対策の見直しが必要と思うがいかん。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 365 276 400">第3位</p> <p data-bbox="209 465 244 745">五野井敏夫</p>	<p data-bbox="312 365 549 495">1. 空き家の実態と対応策について</p>	<p data-bbox="576 365 1417 521">近年日本全体で空き家の件数が増加し近隣との様々な問題が発生している。建物の陳腐化、敷地内の樹木の繁茂、ゴミの不法投棄、不審者の侵入、害虫の発生源等々で社会的問題となっている。</p> <p data-bbox="576 533 1417 607">本市における空き家の実態件数と対応策等、以下について伺う。</p> <p data-bbox="596 656 1422 730">(1) 空き家の調査はどのように実施しているのか。また、当初の調査時からの推移はいかなるものか。</p> <p data-bbox="596 779 1422 853">(2) 空き家の情報と利活用の推進の広告はいかように実施しているか。</p> <p data-bbox="596 902 1422 976">(3) 空き家の相続、売却、賃貸等についてのアドバイス、相続対応はどのようにしているのか。</p> <p data-bbox="596 1025 1422 1144">(4) 空き家の固定資産税の未収実態はいかに。未収入金があった場合の徴収方策はいかように対処しているのか。</p> <p data-bbox="596 1193 1422 1267">(5) 空き家、リフォーム等の市補助金の交付実績と利用者からの声をどう評価するか。</p> <p data-bbox="1015 1350 1374 1386" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 地域脱炭素・再エネ推進事業の進捗はいかに</p>	<p>本市は2011年に発生した東日本大震災後に策定した環境未来都市計画に基づき、環境、超高齢化対応、防災をテーマに創造的復興を進めてきた。2018年にはSDGs未来都市計画を策定し、住み続けられる持続発展する東松島を目指してきた。2022年に野蒜地域は、脱炭素先行地域に選定された。これらの要因は再生可能エネルギー事業のうち、特に太陽光発電事業と他事業を複合的に織り交ぜながら地域活性化を図るとある。2023年度は地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）を活用し、市内水平展開を図り、2030年には、温室効果ガスを50%削減を目指すとしているが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) この事業の促進区域とされる野蒜地域住民の方々の理解度はいかに。2022年度に市民アンケート実施があるが、その結果はいかに。</p> <p>(2) 地域脱炭素事業の動向と実績はいかに。</p> <p>(3) 再エネ推進事業（重点対策加速化事業）の取組と事業展開の状況及び進捗度合はいかに。</p> <p>(4) 脱炭素先行地域づくり事業及び重点対策加速化事業の計画終期を2026年（令和8年）度末としているが、目標達成は可能なのか。また、将来的には、取組成果を2030年までに市内全域に、2050年までに被災沿岸3県（宮城、岩手、福島）に対して水平展開し、被災地全体の地域活性化を図り脱炭素のトップランナーを目指すとしているが、その計画と所見を伺う。</p> <p>(5) 以前一般質問で太陽光発電を利用した街路灯を設置することを提案したが、その際、この件に関しては、今後研究すると答弁があったが、その後、どのように研究されたのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 青の街を核としたシティプロモーションのさらなる推進を</p>	<p>令和6年11月27日道の駅東松島がオープンし、観光関連施設の整備は主なもので令和の果樹の花里づくりを残すのみとなった。本市においては令和4年9月27日にGreen Destinations Top100（世界の持続可能な観光地Top100選）に選出され、令和5年10月18日にはベスト・ツーリズム・ビレッジ2023に認定された。</p> <p>また、みやぎふるさとCM大賞での実績、東松島夏まつりや青い鯉のぼり等の各種イベントは市内外から評価を受けていることから、今後も青の街を核としたシティプロモーションに係る取組を実施している関係団体の支援等を継続していく意義があると考え、以下に問う。</p> <p>(1) 商工会青年部が中心となりリニューアルした青いポストは話題性と集客性を兼ね備えた費用対効果の高い取組であったと評価している。</p> <p>今後の青の街のプロモーションを推進するために、矢本駅以外の快速電車停車駅周辺（陸前赤井駅、陸前小野駅（及川商店前）、野蒜駅前）や市役所（矢本庁舎、鳴瀬庁舎）、震災復興伝承館等の公共施設への青いポスト整備を後押ししてはどうか。また、道の駅への郵便ポストの設置を申請してはどうか。</p> <p>(2) シティプロモーションにおいては、自治体だけではなく民間活力を効果的に活用することが不可欠と思慮する。成果を示した関係団体やこれから活躍が期待される市民の士気高揚、機運醸成を図るべきと感じるが、如何に。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 奥松島運動公園マレットゴルフ場の現状は</p>	<p>令和4年第1回定例会において、この件名で質問させていただきました。</p> <p>各々答弁をいただいたが、その後の取組状況を伺う。</p> <p>(1) 愛好者を増やす広報活動について。</p> <p>(2) 施設の今後の管理運営について。</p> <p>(3) 奥松島運動公園の中での存在感を示す活用方法はあるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 鳥獣駆除対策の現状について</p>	<p>この件については、昨年、今年の小野地区市政懇談会において質問・要望事項として提出され、担当課より詳細に回答されていた。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 国・県への予算要求の見通しは。</p> <p>(2) 熊やニホンジカの出没が頻繁に見られるようになっているが、今後の対策について。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 遅れている市街化区域拡大の対応について</p>	<p>9月に国土交通省から発表された地価公表の中で管内の市町では、住宅地の土地価格変動率が1～3%程度下落している中で、本市では7%前後の上昇率となっている。又、大手不動産が発表した街の住みこちランキング2024では、住み続けたい自治体で本市は5番目となっている。</p> <p>これらのことから東松島市は人気度が高く、住居を構えたい人が多いと推定され、住宅地供給のチャンスと捉えている。しかし、東松島市第2次総合計画の令和3年度から7年度までの後期基本計画では、地方創生・人口減少対策プロジェクトの取組の中で市街化区域拡大による良質で安価な住宅地の提供とあるが計画の姿が見えなく遅れを感じている。このことから以下について伺う。</p> <p>(1) 令和5年2月から3月に6地区の関係地権者に対しアンケート調査を行っているが、その結果についてどのように検討しているのか伺う。</p> <p>(2) 現在の6地区の市街化区域拡大への進捗について伺う。</p> <p>(3) 市街化区域の拡大から、宅地を提供出来るまでの今後のスケジュールについて伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. マイナンバーカードの積極的活用を推進せよ</p>	<p>厚生労働省は、12月2日以降、健康保険証が新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とするしくみに移行している。</p> <p>また、警察庁では来年の3月24日から運転免許証とマイナンバーカードの一体化の運用開始となるが、今後、更にマイナンバーカードの利活用が増えていくと考えられる。このことから以下について伺う。</p> <p>(1) マイナ保険証については、医療機関等で正確な情報を把握することができ、緊急時にも効率的な医療行為を受けられることから、市民に積極的な推進を働きかけるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 宮城県ではデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のミニアプリ「宮城防災アプリ自然災害対応型」を今回立ち上げているが、このアプリを市総合防災訓練時の避難所受入把握に活用することを提言するがいかがか。</p> <p>(3) マイナンバーカードの取得率は、市のDX推進にも大きく影響されるため、さらなる丁寧な説明で取得率向上を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 独居高齢者の支援体制を充実せよ</p>	<p>高齢化社会の中で独居高齢者も増加傾向にある。本市においては、75歳以上の高齢者約6,300人のうち、ひとり暮らしの高齢者が約1,000人で約16%を占めている。</p> <p>また、ひとり暮らしの障害者の方々や、日中又は夜間に同居家族が不在になるなど独居状態になる高齢者の方々も多く存在し、孤独死された方々もこの3年間で82人に及ぶと聞き及んでいる。そこで、独居高齢者の支援体制について以下の点について伺う。</p> <p>(1) 体調が急変したときの対応の一助として平成25年度から救急医療情報キット（あんしんキット）を配布しているが、配布を含めた運用状況について伺う。</p> <p>(2) ひとり暮らしの障がい者の災害時避難行動要支援者情報の運用状況について伺う。</p> <p>(3) 見守りを兼ねた食の栄養強化の配食サービスの実施を令和4年2月、令和5年6月定例会の一般質問で提言していたが、取組状況を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 365 276 405">第7位</p> <p data-bbox="209 465 244 696">小 野 幸 男</p>	<p data-bbox="312 365 549 450">1. 市政運営の 課題について</p>	<p data-bbox="584 365 1385 445">市政運営にかかわる課題等についての3件について伺う。</p> <p data-bbox="596 490 1418 692">(1) 赤井地区の七反谷地と八反谷地に跨る排水対策について、これまでに2回ほど各関係部署と関係者が協議を行ってきた経緯があり、地区の切なる要望も震災時から10年以上経過しているので、解決にむけての対策を伺う。</p> <p data-bbox="596 736 1418 1028">(2) 奥松島を核とした観光元年を設定していただき、今後の観光振興の繁栄に地元住人としても期待をいたしている。そこで以前にも提案した更なる観光発展に命の橋としての塩釜市寒風沢島への架橋と大高森遊歩道へのアシストによる頂上までの利用者の負担軽減と高齢化社会の対応策として、色々な課題は承知の上で再度（今のままでは今のまんま）市長の方向性を伺う。</p> <p data-bbox="596 1072 1418 1319">(3) 10月6日に開催されたビーチテニスの大会時に、合同会社オルフレックス代表・一般社団法人みちのくフェスタ代表理事の鳥居ゆうじ氏から、気仙沼市を中心に開催されているビーチスポーツの大会を東松島市の野蒜海岸での開催を希望していることについての対応を伺う。</p> <p data-bbox="1015 1397 1374 1438" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>小野 幸男</p>	<p>2. 新教育課程導入について</p>	<p>これまで、学力向上に始まり、いじめ問題や教職員の働き方改革など議論を重ね、児童・生徒の向上が図られてきたのかと思料される。また、各学校の取組事例も質問してきたが、新たなる事例について伺う。</p> <p>(1) 兵庫県川西市立多田小学校や茨城県守谷市で取り組まれている「学年担任制×教科担任制×40分授業午前5時間制」の導入についての教育長の見解を伺う。</p> <p>(2) 「前例を踏襲せずに、変えるべきものは変えていく」と校長先生方の意識改革を行った神戸市教育長の取組について教育長の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 女川原子力発電所核燃料税交付金の増額を</p>	<p>東北電力(株)女川原子力発電所に関する核燃料税交付金等について、宮城県へ交付金増額等の要望を重ねている。</p> <p>11月1日に要望した際の宮城県の回答は、方針を再検討するに留まり、望む回答は得られていないのが現状である。</p> <p>今後、UPZ関係自治体として、地域振興と住民福祉への事業拡大も含め、引き続き強く要望して行くべきと考える。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 宮城県は来年度の配分額の見直しを検討する方針を示しているが、本市では重大事故を想定した避難訓練やUPZ指定によるイメージへの悪影響等本市の負担が大きいことは明らかである。</p> <p>また、原子力発電所に対する住民理解の促進に向け、交付金の増額は引き続き強く要望していくべきである。本年度の東北電力(株)から宮城県が徴収する核燃料税は7億3,000万円が見込まれており、配分の現状の5市町で1.8%から5%の増額要望は妥当である。</p> <p>UPZ関係自治体首長会議代表幹事である市長の令和7年度増額に向けた対応について伺う。</p> <p>(2) 交付対象事業を地域振興と住民福祉に拡大するよう要望した際、宮城県は国のエネルギー政策で対応すべき課題であるとの回答であった。</p> <p>交付対象事業の拡大も含め、今後の宮城県との交渉をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>(3) 島根県を視察した際、島根原発周辺自治体の現状及び意見交換から得られた他のUPZ関係自治体の対応と現状を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 学校給食費無償化による子育て支援策を</p>	<p>12月に開催される全国学校給食甲子園決勝大会に、東松島市給食センターが県内勢として日本一を目指し初出場を決めた。本市の食材PRも兼ね、明るいニュースが届く本市の学校給食であるが、完全無償化については、保護者の経済的負担軽減策として継続して提案し、これまで前向きな回答をいただいている。</p> <p>子育て支援策及び少子化対策の重要な政策となる学校給食費無償化を早期に実現し、安心して子育てが出来る東松島市を目指し、以下について伺う。</p> <p>(1) 学校給食費について、現在は半額程度の負担となるが、市長は市政懇談会等様々な場面で来年度は3分の2程度に拡大すると発言している。</p> <p>そこで、令和7年度の学校給食費保護者負担金について、更なる保護者の経済的負担軽減の拡大を求めるかがか。</p> <p>(2) 無償化を実施するには2億円近くが必要となる、これまでは特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条交付金）や国の地方創生臨時交付金を活用し補填して来たが、今後の財源確保について伺う。</p> <p>(3) 全国的にも所得制限なしで無償化する自治体が増えているなかで、宮城県内でも本年度は35全自治体の4割に当たる14市町村が実施し、うち10市町村は全小中学生が対象となる。</p> <p>ふるさと納税の額等自治体間の財政力によって、補助額に大きな差が生じていると感じられる。学校給食費無償化は、自治体間で差が生じないように、国の責任についての政策にすべきと兼ねてからの市長の言葉であるが、今後国への要望について方向性を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 口腔対策による高齢者の健康増進を</p>	<p>厚生労働省では、口の機能を維持・向上させることが、口の健康だけではなく全身の健康維持に繋がるとし、定期的な歯科検診受診等口腔対策を推奨している。</p> <p>また、日本歯科医師会では、健康長寿のサポートに向け、以前から取り組まれている8020運動に加え、オーラルフレイル対策に取り組んでいる。</p> <p>本市の高齢者の健康寿命延伸のため、以下について伺う。</p> <p>(1) 多賀城市では、40～70歳の5歳刻みの市民の歯周病検診を無料化し、さらに令和6年度より20歳、25歳、30歳、35歳も無償化対象を拡大し、市民の歯の健康維持に貢献している。本市でも、歯の健康診断の自己負担額が無料となる年齢を設定し、健康寿命延伸に注力することを提案するがいかがか。</p> <p>(2) 活舌低下、むせや咀嚼機能低下など、口腔機能の低下から始まるオーラルフレイルであるが、厚生労働省では市町村事業として制度化しており、地域保健事業や高齢者を対象とした介護予防事業による対応が可能である。</p> <p>高齢者の健康維持に向けて歯科医師と連携し、口腔トレーニングを市が推進することを提案するがいかがか。</p> <p>(3) 現在50歳以上の方は、オーラルフレイルについての検査が口腔機能低下病の保険病名で保険適用されている。積極的検査を歯科受診するよう周知徹底してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 農業施策の推進について</p>	<p>農業の多面的機能は広く市民が享受しているところではあるが、農業施策の推進においては市民の理解や参画を得るよう配慮しながら進める必要があるとの認識から、以下について問う。</p> <p>(1) 地域計画について</p> <p>① 地域計画策定の進捗状況について問う。</p> <p>② 多様な担い手が参入できるよう配慮されているか問う。</p> <p>③ 地域計画は作成がゴールではなく、始まりと言われる。策定後の道筋について問う。</p> <p>(2) 保全会について</p> <p>多面的機能支払交付金の基本的な考え方として、地域住民や都市住民のできるだけ多様な主体の参画が求められている一方で、近年、高齢化等により活動への参加者が徐々に少なくなってきたことから、以下について問う。</p> <p>① 高齢化などの理由により、シルバー人材センターに頼んで、代行作業をしている事例がある。このことは、多面的機能支払交付金制度の趣旨が浸透していないのではないかと解せるがいかがか。</p> <p>② 現状のままでは、将来的に活動の限界がみられると思慮する。どのように捉え対処するのかその方向性を問う。</p> <p>③ 水田や水路、ため池での作業は、破傷風のリスクを抱えている。破傷風のワクチン接種費用を交付金の対象とされるよう求めるがいかがか。</p> <p>(3) 農村政策フェローの設置について</p> <p>岩手県紫波町においては、令和元年に独自のポストとして「農村政策フェロー」を設置し、一定の成果を得てそのジャンルを確立したとの報告がある。本市においてはすでにDXフェローを招いて展開中である。同様に農業分野においてもフェローの設置を提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>2. 総合防災訓練について</p>	<p>総合防災訓練において、小中学生の参加が少ないとの声がある。震災から13年が経過し、児童生徒は震災を知らないことから、以下について伺う。</p> <p>(1) 総合防災訓練を授業の一環として登校日扱いされるよう求める声があるが、どのように考えるか。</p> <p>(2) 自治会はじめ地域組織と学校が協力して、中学生とのネットワークを構築することが、地域におけるより強い防災体制を構築するものと思慮するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 松島基地との共存共栄について</p>	<p>市長は公約の中で「松島基地との共存共栄」を掲げており、全国の自衛隊の基地が存在する自治体の中でも基地と市の関係は極めて良好であると感じている。防衛省の補助事業等を活用してハードのみならず、18歳までの医療費無償化や学校給食費補助に充当するなど市民の要望を捉えた施策は評価するものである。今後も市民の様々な要望実現のため一般財源の負担を減らしつつ防衛補助事業を活用すべきと考える。そこで次の点について問う。</p> <p>(1) ここ10年間の民生安定事業の主な内容と実績、今後の事業見込みについて問う。</p> <p>(2) ここ10年間の特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条交付金)の事業内容と実績、今後の事業見込みについて問う。特に今年度は4,000万円程増額されているがその用途について問う。</p> <p>(3) 基地交付金のうち定額部分については土地の評価額で査定されてしまうため、被災地である東松島市は少なくなってしまう。基地交付金の交付状況及び今後の見通しについて問う。</p> <p>(4) 国は今後5年間で防衛費総額を43兆円にすると発表しており、今まで後回しになっていた隊員の宿舎等を含めた基地内改修工事費の予算も含まれていると聞いている。今回の衆議院議員選挙の結果を受けて防衛予算の見通し、特に松島基地の整備事業に関する情報が市長のもとに入っているのか問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 我が市における水産業の課題について</p>	<p>今年も東松島市特産の牡蠣と海苔の漁が開始された。そこで次の点について問う。</p> <p>(1) 牡蠣の出荷が10月末から開始されたが、温暖化の影響を含めて原因は調査中であるものの死滅が多い状況である。シーズン終了までは不確定な部分があるものの、市として助成していく考えの有無について伺う。</p> <p>(2) 農業も同様であるが水産業の担い手不足は深刻な課題であると認識している。今後、移住者などの方策を含めた後継者問題に対する考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>3. 我が市における防災計画等について</p>	<p>東日本大震災から間もなく14年が経つ。東松島市第2次総合計画後期基本計画において「(まちづくりの方向性4) 災害に強く安全で快適で美しいまち」を示している。今年2月の定例会でも質問したが、再度我が市における防災計画等について次の点を問う。</p> <p>(1) 災害発生時に市民全員の安全確保のためには、発災直後に各地区単位で動ける事が重要である。2月定例会でも質問したが、現在、市内における地区防災計画の策定状況はどの程度進んでいるかを把握しているのか。また、市として地区防災計画の内容及び運用に関与していく考えはあるのか。さらに、個別避難計画の進捗状況はどの様になっているのか。</p> <p>(2) 自助・共助・公助の中で普段からの備えとして公助における市の果たす役割は非常に大きく、その努力と成果は市内外からも大きく評価されていると認識している。</p> <p>一方で発災直後において全ての市民の安全を確保するためには自助・共助の果たす役割が非常に大きいと考える。自助・共助が災害時有効に動けるように市として努力している事項及び今後の進め方について伺う。</p> <p>また、定期的に防災訓練を実施しており住民の意識高揚に努めているなかで市民の参加率は20%をやや上回る人数である。これをどの様に評価しているのか伺う。</p> <p>(3) 本市の道路は東西方向への通行を主に整備されている。津波発生時における避難方向は南北方向が主となる。避難道路の整備を進めているところであるが災害等で南北方向へスムーズに避難させるために検討している事項はあるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>4. 観光振興について</p>	<p>市長は本年を観光元年と位置付け、観光振興施策を推進しており、観光客入れ込み数も昨年度は一昨年度に比べ約23%上昇し、東日本大震災前の91%まで回復している。さらに東松島夏まつり、航空祭等賑わいをみせており、先月末には待望の道の駅もオープンした。</p> <p>しかし一方で、松島からの観光客を呼び込むための定期航路を開設したが、客足が伸び悩んでいると承知している。原因が様々あると思われるが、交通手段が大きな足かせになっていると推察される。観光に来られる方は往復共に同じ経路を通る事を好まない傾向にあり、他の交通手段はタクシーに頼らざるを得ない現状である。そこで提案であるが、週1便の定期船に合うように、観光客の足を検討しては如何だろうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 国保に係る子どもの均等割独自減免について</p>	<p>この件については、これまでに何度か取り上げてきた。県内では仙台市が5割減免、石巻市が3割減免、松島町、亶理町、丸森町、山元町、大郷町で全額減免が行われ、既に7自治体で取り組まれている実態がある。</p> <p>今回質問するにあたって再度調査すると、大崎市が令和4年4月より就学から18歳までの均等割額の5割を減免。令和5年には富谷市が同様に5割減免、涌谷町が全額軽減、令和6年には美里町で全額軽減を実施するなど、4つの自治体で新たに取り組まれ、11自治体に拡大している。国の未就学児の2分の1減免を機に減免対象を拡大する自治体が増加したと考える。</p> <p>この際、本市でも子育て支援の一環として、就学から18歳までの均等割の5割減免、望むべくは均等割、実質ゼロだが・・・に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>長谷川博</p>	<p>2. 福祉灯油など住民の暮らしを支える取組を</p>	<p>寒さが厳しくなり年末に向けて、長引く物価高騰から住民の暮らしを守る取組がいつそう重要になっている。私どもが6月実施した独自の市民アンケートでも「暮らしが厳しくなった」という回答が7割を占める結果だ。</p> <p>国が策定する新たな経済対策で、国民の暮らしを抜本的に改善する効果を望むところだが不透明でもある。</p> <p>一方で、地方自治体がさまざまな住民施策に活用できる「重点支援地方交付金」(地方創生臨時交付金)の増額などが盛り込まれるとも聞き及んでいる。</p> <p>本市でも、国の経済対策と補正予算を視野に、自治体独自の住民支援策・灯油代の助成なども含め、年末に向け厳しい暮らしの市民を支える事業を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 単身世帯の増加対策について</p>	<p>国立社会保障・人口問題研究所が、2050年には全世帯に占める1人暮らしの割合が27都道府県で40%を超えると11月12日に発表した。</p> <p>未婚の人が増え、少子高齢化で一緒に住む家族の人数も減るとのことである。また、地方では配偶者との死別などで単身高齢者の割合が高くなる傾向にあり、特に65歳以上の単身世帯の増加が顕著であると同研究所では分析している。</p> <p>高齢の単身世帯化が急速に進む中、社会的孤立の解消や独居老人を標的とした強盗事件への防犯対策は急務であると思料する。この件についての所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 教育の諸課題を問う</p>	<p>(1) 先般実施された第50回衆議院選挙における18、19歳の投票率は43.86%で、全世代を通じた投票率は53.5%であり、若者の投票率は他の年代と比較して低迷している。</p> <p>政治や選挙への無関心がそのような結果を招いているものと考え。小学生、中学生の頃から国会や議会の仕組みや投票の権利等について話すのがあたりまえになる教育がなされれば、未来の有権者の投票率は向上するものと思料する。この点に関する所見を伺う。</p> <p>(2) 令和元年第2回の一般質問でスマホが脳に与える悪影響について指摘した。スマホが脳に与える恐ろしい影響を著した著書「スマホ脳」はスウェーデンで社会現象となった世界的ベストセラーである。スウェーデンの学校では著者の警鐘を受け入れ、ウォーキングやランニングで脳力を伸ばすことに尽力しているとのこと。本市でも「デメコン」を積極的に推進しているが、教育大国であるスウェーデンの取り組みを参考に運動にも力を入れてはいかかがか。</p> <p>(3) 「闇バイト」強盗事件が世間を震撼させている。若者たちがSNSやネットの掲示板などで勧誘され、実行犯に加担させられている。「高収入」や「簡単にかせげる」といった言葉で簡単にリクルートされているが、これを防ぐためにはメディアリテラシー教育が鍵になると思料する。学校でのメディアリテラシー教育の強化を提案するがいかかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 粗大ごみのリユース事業を再開せよ</p>	<p>令和元年12月定例会において、粗大ごみのリユース化について一般質問した経緯がある。その取り組みの第1歩として、令和2年3月鳴瀬一般廃棄物最終処分場に搬入された「粗大ごみ」で、リユース（再使用）可能な家具等を市民へ無償譲渡した。市民からの反応は上々であり次回の開催を要望されていたが、世界的な新型コロナウイルス感染症を受け、一度のみの開催にとどまった。</p> <p>そこで、以下について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 粗大ごみ搬入の現状は。</p> <p>(2) 多くの市民から粗大ごみのリユース事業の再開を望む声が聞こえる。物を大事に使うことは持続可能な社会を続けるためにも素晴らしい事業と考えるが、今後のリユース事業計画について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 地域公共交通の見直しを早急に検討せよ</p>	<p>平成21年7月にスタートした本市のデマンド型乗り合いタクシー「らくらく号」は、高齢者や交通弱者の方々の病院や買い物等の移動手段として、月曜日から土曜日まで運行しており、今では1日当たり約100人、年間約35,000人の方にご利用いただき、安全・安心な公共交通の提供に努めていると伺った。そこで、以下について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 住民の高齢化が進み、運転免許証の返納者も年々増えているのが現状であるが、本市内で利用できる公共交通機関は鉄道とデマンド型乗り合いタクシー「らくらく号」のみである。本市の全体像を見たときに大塩地区と宮戸地区には鉄道は通っていない。住民の今後の移動手段について、どのような施策を検討しているのか。</p> <p>(2) 本市の主な観光と言えば、ブルーインパルスと自然豊かな奥松島の景観である。特に奥松島は2021年に「世界の持続可能な観光地トップ100」に選ばれ、また、2023年には国連世界観光機関から「ベストツーリズムビレッジ」にも選定され、今や世界の奥松島と言っても過言ではない。</p> <p>その奥松島への玄関口はJR野蒜駅であるが、降車した観光客の移動手段は徒歩とタクシーである。予約のいらない地域住民や観光客も乗れる分かりやすい交通として、過疎債を利用した路線バス(仙台市営一ぶる仙台)のような定時定路線型の運行をする交通を提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>